

国分高校通信 〈第19号〉

平成26年度版

平成26年12月25日(木)

鹿児島県立 国分高等学校

霧島市国分中央2丁目8番1号

TEL 0995-46-0001

人権・同和教育全体研修

12月4日(木)～10日(水)の人権週間にあわせて、12月12日(金)7限目に、人権・同和教育の研修会を実施しました。

講師は、霧島市隼人人権啓発センター館長の黒木秀明さんで、「“差別”をなくしたい!…部落差別について…」という演題で講演していただきました。

黒木さんは、約60分間の講演の中で、「部落問題は、被差別部落の人々が、今日もお差別を受けているという現在の重大な社会問題である。」と言われ、なぜ差別があるのかを歴史的に詳しくお話してくださいました。

また、差別をなくす取り組みの成果として、①教科書無償の取り組み ②統一応募用紙 ③成績条項なしの奨学金 ④本人通知制度 を挙げて具体的に話してくださいました。

限られた時間の中での講演会でしたが、生徒・職員は熱心に聴いて、人として最も大切なこと(考え方・行動等)を学びました。

生徒会長はお礼の言葉の中で、生徒を代表して、「今日ここに、国分高校100周年の生徒会決意『差別を絶対しない』を改めて決意表明します。」と述べました。



進路講演会

12月15日(月)6・7限に、2年生を対象に、進路講演会を実施しました。

講師は志學館大学の志賀玲子准教授で、「自己理解とキャリアデザインの基礎」という演題で90分の御講演をいただきました。キャリアデザインに関して、自分にできる(can)こと、自分がしたい(want)こと、自分がしなければならない(must)とされていることの3つが重なり合う部分の職業に就けば、満足度が大きいといった話をしていただきました。

歯科講話

12月17日(水)7限に、2年生を対象に歯科講話を実施しました。

講師は学校歯科医の森原和久先生で、「口腔の自己管理」という演題で40分の御講演をいただきました。

歯・口の健康づくりに関する学習を通して、自らの健康課題を発見して解決し、生涯にわたって進んで健康によい生活行動が実践できるようにお話をしてくださいました。

クリスマスミニコンサート



クリスマスイブ前日の12月23日(火・祝)に音楽部が鹿児島空港でクリスマスミニコンサートを行いました。

空港側から依頼され、毎年実施しているもので、今回で6回目になります。国分高校は、11時15分からと14時20分からの2回公演を行いました。

音楽部員が、楽器ごとのアンサンブルでクリスマスに関する曲8曲を演奏すると、会場からは温かい拍手が起きました。小さい子どもから、お年寄りまで一緒になって聴いておられました。みなさんに楽しんでいただけたと思います。

